イスラームの英雄

第 2 巻

アリー・ブン・アビー・ターリブ

ハイバル征服王と第 4 代カリフ — クルアーンと真正なハディースに基づいて



Hj Che Alim Hj Che Haron
AK (Kelantan)
quranscience.my

© 2026 年 / 1448 AH Hj Che Alim Hj Che Haron AK (Kelantan) • quranscience.my • @QuranScienceMY
この電子書籍はムスリムのための無料版です — 販売禁止。

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

イスラームの英雄

第 2 巻

アリー・ブン・アビー・ターリブ

ハイバルの旗手、第 4 代カリフ — クルアーンと真正なハディースに基づいて

وَٱلسَّٰبِقُونَ ٱلْأَوَّلُونَ مِنَ ٱلْمُهَٰجِرِينَ وَٱلْأَنصَارِ وَٱلَّذِينَ ٱتَّبَعُوهُم بِإِحْسَٰنٍ رَّضِيَ ٱللَّهُ عَنْهُمْ وَرَضُوا۟ عَنْهُ وَأَعَدَّ لَهُمْ جَنَّٰتٍ تَجْرِى تَحْتَهَا ٱلْأَنْهَٰرُ خَٰلِدِينَ فِيهَآ أَبَدًا ۚ ذَٰلِكَ ٱلْفَوْزُ ٱلْعَظِيمُ ﴿١٠٠﴾

「（イスラームの）先達は，第 1 は（マッカからの）遷移者と，（遷移者を迎え助けたマディーナの）援助者と，善い行いをなし，かれらに従った者たちである。アッラーはかれらを愛でられ，かれらもまたかれに満悦する。かれは川が下を永遠に流れる楽園を，かれらのために備え， そこに永遠に住まわせられる。それは至上の幸福の成就である。」

悔悟章 9:100

HJ CHE ALIM HJ CHE HARON

quranscience.my | @QuranScienceMY

© 2026 年 / 1448 AH quranscience.my — 無料の電子書籍。販売禁止。

謝辞

預言者の伴侶として教友たちを選び、信仰に先んじた者たちを嘉されたアッラーに讃えあれ。私たちの主、預言者ムハンマド ﷺ と、その家族と教友たち、とりわけそのいとこであり娘婿であるアリー・ブン・アビー・ターリブ رضى الله عنه に祝福と平安あれ。

この電子書籍を、最愛の妻

ザハラ・モハマド・ラティフ；

愛する子どもたち、

ムハンマド・ハフィズ、ヌール・ハズワニ、アブドゥル・ハキム、ヌール・ヒダヤ、ノル・アキラ、ノル・アティカ；

そして義理の子どもたち、

ファジラ、マレク、ハニン、ファイリザル、フィルワンに捧げます。

『イスラームの英雄』第 2 巻は、アリー・ブン・アビー・ターリブ رضى الله عنه の生涯を語ります。最初に信仰した子ども、ハイバルの旗手、フダイビーヤ和約の書記、カリフたちが頼った学者、そしてクーファで殉教した第 4 代カリフです。この知識が「役に立つ知識（イルムン・ユンタファウ・ビヒ）」となりますように。

この電子書籍の表紙について

この電子書籍の表紙には、人間も動物も描かれていません。描かれているのは、夜明けの岩山の上に建つ、黒い石で築かれた***ハイバルの砦***です。青い空と、地平線の金色の光が見えます。

砦の周りには緑の***ナツメヤシの林***が広がり、その手前には、マディーナの北にあるハイバル地方の特徴である***黒い溶岩の岩（ハッラ）***が続いています。

左側では、木の槍の先に***白い旗***がはためいています。これは、ハイバルでのアッラーの使徒 ﷺ の言葉を思い起こさせます。「明日、私はこの旗を、アッラーがその両手によって勝利を与えられる男に渡そう」— そして旗はアリーに渡されました（『サヒーフ・ブハーリー』3701）。

手前の大きな岩の上には、***羊皮紙の巻物とペン***が置かれています。これはアリーの知識と、フダイビーヤ和約の書記を務めたこと（『サヒーフ・ブハーリー』2699）を表しています。旗とペンは、戦場の英雄であり知識の学者でもあるアリーの二つの面を示しています。

下部の***紺色の帯***は、***細い金色の線***に縁取られ、著者名が記される場所です。『イスラームの英雄』の表紙がすべてそろうよう、第 1 巻の表紙と同じ形にしています。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

目次

アリー・ブン・アビー・ターリブ — *はじめに*

1. アリーとは誰か — *『サヒーフ・ブハーリー』3703*

2. 最初に信仰した子ども — *イブン・イスハークの伝承；『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』3728*

3. ヒジュラの夜：アッラーの使徒ﷺの寝床で — *戦利品章 8:30；イブン・イスハークの伝承*

4. ファーティマ・アッ＝ザフラーとの結婚 — *『スナン・アビー・ダーウード』2125；『サヒーフ・ブハーリー』3091*

5. バドル、ウフド、塹壕 — *巡礼章 22:19；『サヒーフ・ブハーリー』3969*

6. フダイビーヤ：和約の書記 — *勝利章 48:18；『サヒーフ・ブハーリー』2699*

7. ハイバル：アリーの手にある旗 — *『サヒーフ・ブハーリー』3701；『サヒーフ・ムスリム』1807*

8. ムーサーに対するハールーンの立場 — *『サヒーフ・ブハーリー』4416*

9. アフル・アル＝バイト：ムバーハラの節と外套のハディース — *イムラーン家章 3:61；部族連合章 33:33；『サヒーフ・ムスリム』2424*

10. バラーア章の告知者、イエメンの裁判官 — *悔悟章 9:3；『サヒーフ・ブハーリー』4656*

11. アブー・トゥラーブ：アリーの家の質素な暮らし — *『サヒーフ・ブハーリー』3703、3705*

12. アリーを愛することは信仰のしるし — *『サヒーフ・ムスリム』78*

13. アリーの知識と知恵 — *『サヒーフ・ブハーリー』111、4481*

14. 三人のカリフと共に — *『サヒーフ・ブハーリー』3671；集合章 59:10*

15. 第 4 代カリフと内乱の時代 — *『サヒーフ・ムスリム』1065；『サヒーフ・ブハーリー』2704*

16. クーファでの殉教 — *スィーラの伝承；『ムスナド・アフマド』*

17. アリーの人柄 — *まとめ*

18. アリーの物語の出典 — *表*

19. アリーの物語の登場人物 — *表*

20. アリーの物語の舞台 — *表*

21. アリーの生涯の年表 — *表*

22. アリーについてよくある質問 — *12 の質問*

23. 教訓と結び

参考文献

支援と寄付

色の見方：緑の枠 = クルアーンの節；金色の枠 = ハディース；茶色の枠 = スィーラの注（スィーラ書の伝承）；青い表 = 比較。青い下線の伝承者名をクリックすると、sunnah.com の伝承者のページが開く。

アリー・ブン・アビー・ターリブ

アッラーの使徒 ﷺ の教友の中に、幼い頃からその家で育ち、啓示が初めて下った時からそれを聞き、最も早く信仰した人がいます。それが***アリー・ブン・アビー・ターリブ*** رضى الله عنه です。アッラーの使徒 ﷺ のいとこであり娘婿、ファーティマ・アッ＝ザフラーの夫、そしてハサンとフサインの父です。

アリーは、ハイバルで旗を担った英雄、フダイビーヤ和約を書くことを任された教友、カリフたちが頼りにした学者、そして正統カリフの第4代として知られています。アッラーの使徒 ﷺ は彼にこう言われました。***「あなたは私から出た者であり、私はあなたから出た者である。」***

この電子書籍は***『イスラームの英雄』***シリーズの第2巻です。第1巻と同じく、アリー رضى الله عنه の物語を、まずクルアーンと真正なハディースから、次に信頼できるスィーラ（預言者伝）の書から集めています。すべての伝承に出典を示し、有名でも伝承経路が弱い話はそのことを正直に説明します。

アリーの生涯は、ウンマ（イスラーム共同体）の歴史で最も困難な内乱（フィトナ）の時代にも及びます。その時代の章は、スンナ派（アフル・アッ＝スンナ・ワ・アル＝ジャマーア）の立場に従って書かれています。事実を公正に述べ、アッラーの使徒 ﷺ のすべての教友を敬い、誰をも悪く言わないように口を慎むという立場です。

アリーとは誰か

正式な名前は*アリー・ブン・アビー・ターリブ・ブン・アブドゥルムッタリブ・ブン・ハーシム*、クライシュ族ハーシム家の人です。父アブー・ターリブは、祖父アブドゥルムッタリブの死後にアッラーの使徒 ﷺ を養育した叔父です。したがってアリーはアッラーの使徒 ﷺ の*いとこ*にあたります。

母は、ハーシム家の*ファーティマ・ビント・アサド・ブン・ハーシム*です。彼女もアブー・ターリブの家で幼いアッラーの使徒 ﷺ の世話をし、後にイスラームに入信してマディーナへ移住しました。

有名な説によれば、アリーは***預言者の召命のおよそ10年前***（600年ごろ）にマッカで生まれました。アブー・ターリブの末の息子で、兄弟はターリブ、アキール、ジャアファルです。

名前、クンヤ、称号

名前・称号	説明
アリー	父アブー・ターリブが付けた名前
ハイダラ	母が付けた名前で「獅子」の意味。アリー自身がハイバルで名乗った（『サヒーフ・ムスリム』1807）
アブー・アル＝ハサン	最も有名なクンヤ（呼び名）。長男ハサンにちなむ
アブー・トゥラーブ	「土の父」。アッラーの使徒 ﷺ ご自身が付けた呼び名（第11章）
アミール・アル＝ムウミニーン	第4代カリフとしての称号（ヒジュラ暦35〜40年）

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

アッラーの使徒ﷺの家で育つ

スィーラの注：アッラーの使徒ﷺのもとで暮らしたアリー

イブン・イスハークの伝えるところでは、クライシュ族がひどい飢饉に見舞われたことがありました。アブー・ターリブは子だくさんで暮らしが苦しかったため、アッラーの使徒 ﷺ は叔父アッバースに「あなたの兄弟アブー・ターリブは家族が多い。彼の負担を軽くしよう」と言われました。

そこでアッバースはジャアファルを、アッラーの使徒 ﷺ は*アリー*を引き取りました。アリーは、アッラーが彼を預言者として遣わされるまでアッラーの使徒 ﷺ のもとにとどまり、その後彼に従い、信じ、その真実を認めました。

参照：
イブン・ヒシャーム『預言者伝』「最初に入信した男性アリー」の章。

教訓

アッラーの使徒 ﷺ は、自分を育ててくれたアブー・ターリブの恩に、その息子を育てることで報いました。善意は善意で返されたのです。そしてアッラーはこの養育を、アリーが人類の最良の人の導きの下で育ち、最初の信仰者の一人となる道とされました。

最初に信仰した子ども

最初の啓示が下った時、アリーはアッラーの使徒 ﷺ の家で暮らしていました。イブン・イスハークによれば、アリーは***およそ 10 歳***で入信し、アッラーの使徒 ﷺ を信じた最初の子どもとなりました。

スィーラの注：最初の入信者は誰か

最初に入信した人については、ハディージャ、アブー・バクル、アリー、ザイド・ブン・ハーリサと伝承が分かれています。ティルミズィーはアナスから、預言者 ﷺ が月曜日に遣わされ、アリーが火曜日に礼拝したと伝えています（『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』3728）。ただし一部の学者はこれを弱いとしています。

学者たちはこれらの伝承を、よく知られた形で調和させています。***女性ではハディージャ、自由人の成人男性ではアブー・バクル、子どもではアリー、解放奴隷ではザイド・ブン・ハーリサ。***いずれも信仰において先んじた人々です。

参照：

イブン・ヒシャーム『預言者伝』；イブン・カスィール『始まりと終わり』；イブン・ハジャル『アル＝イサーバ』。

スィーラの書は、アブー・ターリブがある日、マッカの谷間でアリーがアッラーの使徒 ﷺ と共に礼拝しているのを見たことも伝えています。アブー・ターリブはこの宗教について尋ね、息子にこう言いました。「彼はお前を善きことにしか招かない。彼から離れるな。」

アリーは子どものうちに入信したので、一度も偶像にひれ伏したことがありません。その心は幼い頃から唯一神信仰（タウヒード）によって形づくられました。アッラーは、信仰に先んじた者たちの位をこう述べておられます。

悔悟章 9:100

وَٱلسَّٰبِقُونَ ٱلۡأَوَّلُونَ مِنَ ٱلۡمُهَٰجِرِينَ وَٱلۡأَنصَارِ وَٱلَّذِينَ ٱتَّبَعُوهُم بِإِحۡسَٰنٖ رَّضِيَ ٱللَّهُ عَنۡهُمۡ وَرَضُواْ عَنۡهُ وَأَعَدَّ لَهُمۡ جَنَّٰتٖ تَجۡرِي تَحۡتَهَا ٱلۡأَنۡهَٰرُ خَٰلِدِينَ فِيهَآ أَبَدٗاۚ ذَٰلِكَ ٱلۡفَوۡزُ ٱلۡعَظِيمُ ١٠٠

（イスラームの）先達は，第 1 は（マッカからの）遷移者と，（遷移者を迎え助けたマディーナの）援助者と，善い行いをなし，かれらに従った者たちである。アッラーはかれらを愛でられ，かれらもまたかれに満悦する。かれは川が下を永遠に流れる楽園を，かれらのために備え， そこに永遠に住まわせられる。それは至上の幸福の成就である。

訳：三田了一 — quran.com/9:100

教訓

年齢は、信仰し高い位を得ることの妨げにはなりません。アリーは子どもの時に信仰し、その信仰は生涯揺らぎませんでした。親は子どもの宗教教育に早くから心を配るべきです。早くまかれた種ほど強く育つからです。

ヒジュラの夜：アッラーの使徒ﷺの寝床で

召命から 13 年目、クライシュ族の有力者たちはダール・アン＝ナドワに集まり、アッラーの使徒 ﷺ を殺すことに決めました。各部族から一人ずつ若者を出せば、その血の責任はすべての部族に分散し、ハーシム家は報復できなくなる、という計画でした。

スィーラの注：ヒジュラの夜のアリーの献身

イブン・イスハークの伝えるところでは、アッラーの使徒 ﷺ はアリーにこう言われました。*「私の寝床で寝なさい。この緑のハドラマウト産の外套にくるまって寝なさい。彼らからあなたの嫌がるものは何も届かないだろう。」*

クライシュ族の若者たちは一晩中アッラーの使徒 ﷺ の家を見張りました。覆いにくるまって寝ている人を見て、アッラーの使徒 ﷺ だと思い込んでいました。アッラーの使徒 ﷺ は彼らの間を通って出て行かれました。朝になって彼らが中に入ると、寝ていたのはアリーでした。

アリーはまた、マッカの人々がアッラーの使徒 ﷺ に預けていた*預かり物を持ち主に返す*ため、数日間マッカに残る役目を任されました。彼らは預言者に敵対しながらも、財産は彼に預けていたのです。その後アリーも移住し、クバーでアッラーの使徒 ﷺ に合流しました。

伝承の状態： この話はイブン・イスハークが伝え、スィーラとタフスィール（クルアーン解釈）の書でよく知られています。アフマドも議論のある伝承経路で伝えています。スィーラの学者たちは、これをヒジュラの出来事の一部として広く受け入れています。

参照：
イブン・ヒシャーム『預言者伝』アッラーの使徒 ﷺ のヒジュラの章；イブン・カスィール『始まりと終わり』。

アッラーはその夜のクライシュ族の企みについてこう述べておられます。

戦利品章 8:30

وَإِذْ يَمْكُرُ بِكَ ٱلَّذِينَ كَفَرُواْ لِيُثْبِتُوكَ أَوْ يَقْتُلُوكَ أَوْ يُخْرِجُوكَۚ وَيَمْكُرُونَ وَيَمْكُرُ ٱللَّهُۖ وَٱللَّهُ خَيْرُ ٱلْمَٰكِرِينَ ﴿٣٠﴾

また不信心者たちが，あなた（ムハンマド）に対し如何に策謀したかを思い起しなさい。あなたを拘禁し，あるいは殺害し，あるいはまた放逐しようとした。かれらは策謀したが，アッラーもまた計略をめぐらせられた。本当にアッラーは最も優れた計略者であられる。

訳：三田了一 — quran.com/8:30

教訓

アリーは、アッラーの使徒 ﷺ の言葉を信じて、殺害の標的となっていた場所で落ち着いて眠りました。これは信仰から生まれた勇気です。この話は預かり物についても教えています。アッラーの使徒 ﷺ は危険の中でも、人々の財産が持ち主に返されることを確かめずにマッカを去ることはありませんでした。

ファーティマ・アッ＝ザフラーとの結婚

マディーナでアリーは、アッラーの使徒 ﷺ の末娘 ***ファーティマ*** رضى الله عنها に求婚しました。スィーラの書によれば、結婚はヒジュラ暦2年、バドルの戦いのころのことです。

アリーは当時貧しい人でした。イブン・アッバース رضى الله عنهما はこう伝えています。アリーがファーティマと結婚した時、アッラーの使徒 ﷺ は「彼女に何か与えなさい」と言われました。アリーが「私には何もありません」と答えると、預言者は ***「あなたのフタミー鎧はどこにあるのか」*** と言われました。その鎧が婚資（マフル）となりました（『スナン・アビー・ダーウード』2125；アルバーニーは真正としています）。

婚礼の宴の準備のため、アリーはカイヌカーウ族の金細工師と一緒に香草*イズヒル*を運んで売るつもりでした。酒が禁じられる前にハムザが彼の2頭のラクダを屠った出来事は、この時に起こりました（『サヒーフ・ブハーリー』3091）。これは第1巻で語られています。

アリーとファーティマの子どもたち

名前	説明
ハサン・ブン・アリー	ヒジュラ暦3年生まれ。アッラーの使徒 ﷺ の孫。ヒジュラ暦41年にウンマを和解させた
フサイン・ブン・アリー	ヒジュラ暦4年生まれ。アッラーの使徒 ﷺ の孫。ヒジュラ暦61年にカルバラーで殉教
ザイナブ・ビント・アリー	アブドゥッラー・ブン・ジャアファルと結婚
ウンム・クルスーム・ビント・アリー	ウマル・ブン・アル＝ハッターブ رضى الله عنه と結婚

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ヒジュラ暦 11 年にファーティマが亡くなった後、アリーは他の女性たちとも結婚しました。子どもの一人に、父からハディースを伝えた*ムハンマド・ブン・アル＝ハナフィーヤ*がいます。

教訓

イスラームで最も良い家庭は、一つの鎧という質素な婚資の上に築かれました。アッラーの使徒 ﷺ は娘婿を財産ではなく、信仰と人柄で選ばれました。この質素さは、祝福とともに結婚生活を始めたいと願うすべてのムスリム家庭の手本です。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

バドル、ウフド、塹壕

バドル（ヒジュラ暦 2 年）

バドルの戦いで、アリーは*ハムザ*、*ウバイダ・ブン・アル＝ハーリス*と共に、クライシュ族の 3 人の有力者からの一騎打ちの挑戦に応じ、相手を倒しました。アッラーは、その日に戦った二つの集団についてこの節を下されました。

巡礼章 22:19

هَٰذَانِ خَصۡمَانِ ٱخۡتَصَمُواْ فِي رَبِّهِمۡۖ فَٱلَّذِينَ كَفَرُواْ قُطِّعَتۡ لَهُمۡ ثِيَابٞ مِّن نَّارٖ يُصَبُّ مِن فَوۡقِ رُءُوسِهِمُ ٱلۡحَمِيمُ ١٩

これら両者は，かれらの主に就いて論争する敵手である。それで（主を）拒否する者のために仕立てられるのは，炎の衣装であろう。かれらに頭上から熱湯が注がれて，

訳：三田了一 — quran.com/22:19

アリー自身もこう言っています。*「審判の日、慈悲深き御方の御前で論争のために最初にひざまずくのは私である」*（『サヒーフ・ブハーリー』3965）。アブー・ザッル رضى الله عنه も、この節が彼らについて下ったと誓っています（『サヒーフ・ブハーリー』3969）。この一騎打ちの詳しい話は第 1 巻「ハムザ」で語られています。

ウフド（ヒジュラ暦 3 年）

ウフドでムスリムの隊列が崩れた時、アリーはアッラーの使徒 ﷺ と共に踏みとどまった教友の一人でした。戦いの後、アリーは盾に水を入れて運び、ファーティマがアッラーの使徒 ﷺ の顔の傷を洗いました。血が止まらないのを見たファーティマは、むしろを焼いてその灰を傷に当てました（『サヒーフ・ブハーリー』2903）。

塹壕（ヒジュラ暦 5 年）

スィーラの注：アリーとアムル・ブン・アブド・ウッド

塹壕の包囲の時、数人のクライシュ族の騎兵が狭い所から塹壕を跳び越えました。その中に、力の強さで名高いクライシュ族の勇士 *アムル・ブン・アブド・ウッド* がいて、ムスリムに一騎打ちを挑みました。

まだ若かったアリー・ブン・アビー・ターリブがこれに応じました。アリーはまず彼をイスラームに招きましたが、アムルは拒みました。二人は戦い、アリーがアムルを倒しました。他の騎兵たちは塹壕の向こうへ逃げ帰りました。

伝承の状態： この話はイブン・イスハークが伝え、スィーラの書でよく知られていますが、『サヒーフ・ブハーリー』にも『サヒーフ・ムスリム』にもありません。アリーの一撃をウンマ全体の崇拝に等しいとする言葉など、広まっている付け加えのいくつかは弱いか、捏造されたものです。

参照：

イブン・ヒシャーム『預言者伝』塹壕の戦いの章；ハーキム『アル＝ムスタドラク』；イブン・カスィール『始まりと終わり』。

教訓

アリーは大きな戦いのたびに最前列にいました。しかしその勇気には礼儀が伴っていました。戦う前に相手をイスラームに招いたのです。ジハードの目的は殺すことではなく、真理を打ち立て、導きの扉を開くことです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版

フダイビーヤ：和約の書記

ヒジュラ暦 6 年ズル・カアダ月、アッラーの使徒 ﷺ はウムラ（小巡礼）のため、約 1,400 人の教友と共に出発しました。クライシュ族はフダイビーヤで彼らを阻みました。教友たちは一本の木の下でアッラーの使徒 ﷺ に忠誠を誓い、アッラーは彼らに満足されたことを告げられました。

勝利章 48:18

۞لَّقَدۡ رَضِيَ ٱللَّهُ عَنِ ٱلۡمُؤۡمِنِينَ إِذۡ يُبَايِعُونَكَ تَحۡتَ ٱلشَّجَرَةِ فَعَلِمَ مَا فِي قُلُوبِهِمۡ فَأَنزَلَ ٱلسَّكِينَةَ عَلَيۡهِمۡ وَأَثَٰبَهُمۡ فَتۡحٗا قَرِيبٗا ١٨

かれらがあの樹の下であなたに忠誠を誓った時，アッラーは信者たちに，ことの外御満悦であった。かれはかれらの胸に抱くことを知り，かれらに安らぎを下し，手近な勝利をもって報われた。

訳：三田了一 — quran.com/48:18

最終的に和平の協定が結ばれました。その書記は *アリー・ブン・アビー・ターリブ* でした。次のハディースは、協定が書かれた時に起こったこと、そして話が 1 年後にどう続いたかを伝えています。

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』第 2699 番

حَدَّثَنَا عُبَيْدُ اللَّهِ بْنُ مُوسَى، عَنْ إِسْرَائِيلَ، عَنْ أَبِي إِسْحَاقَ، عَنِ الْبَرَاءِ ـ رضى الله عنه ـ قَالَ اعْتَمَرَ النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم فِي ذِي الْقَعْدَةِ، فَأَبَى أَهْلُ مَكَّةَ أَنْ يَدَعُوهُ يَدْخُلُ مَكَّةَ، حَتَّى قَاضَاهُمْ عَلَى أَنْ يُقِيمَ بِهَا ثَلاَثَةَ أَيَّامٍ، فَلَمَّا كَتَبُوا الْكِتَابَ كَتَبُوا هَذَا مَا قَاضَى عَلَيْهِ مُحَمَّدٌ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم. فَقَالُوا لاَ نُقِرُّ بِهَا، فَلَوْ نَعْلَمُ أَنَّكَ رَسُولُ اللَّهِ مَا مَنَعْنَاكَ، لَكِنْ أَنْتَ مُحَمَّدُ بْنُ عَبْدِ اللَّهِ. قَالَ " أَنَا رَسُولُ اللَّهِ وَأَنَا مُحَمَّدُ بْنُ عَبْدِ اللَّهِ ". ثُمَّ قَالَ لِعَلِيٍّ " امْحُ رَسُولَ اللَّهِ ". قَالَ لاَ، وَاللَّهِ لاَ أَمْحُوكَ أَبَدًا، فَأَخَذَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم الْكِتَابَ، فَكَتَبَ هَذَا مَا قَاضَى عَلَيْهِ مُحَمَّدُ بْنُ عَبْدِ اللَّهِ، لاَ يَدْخُلُ مَكَّةَ سِلاَحٌ

إِلاَّ فِي الْقِرَابِ، وَأَنْ لاَ يَخْرُجَ مِنْ أَهْلِهَا بِأَحَدٍ، إِنْ أَرَادَ أَنْ يَتَّبِعَهُ، وَأَنْ لاَ يَمْنَعَ أَحَدًا مِنْ أَصْحَابِهِ أَرَادَ أَنْ يُقِيمَ بِهَا. فَلَمَّا دَخَلَهَا، وَمَضَى الأَجَلُ أَتَوْا عَلِيًّا، فَقَالُوا قُلْ لِصَاحِبِكَ اخْرُجْ عَنَّا فَقَدْ مَضَى الأَجَلُ. فَخَرَجَ النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم فَتَبِعَتْهُمُ ابْنَةُ حَمْزَةَ يَا عَمِّ يَا عَمِّ. فَتَنَاوَلَهَا عَلِيٌّ فَأَخَذَ بِيَدِهَا، وَقَالَ لِفَاطِمَةَ عَلَيْهَا السَّلاَمُ دُونَكِ ابْنَةَ عَمِّكِ، احْمِلِيهَا. فَاخْتَصَمَ فِيهَا عَلِيٌّ وَزَيْدٌ وَجَعْفَرٌ، فَقَالَ عَلِيٌّ أَنَا أَحَقُّ بِهَا وَهْىَ ابْنَةُ عَمِّي. وَقَالَ جَعْفَرٌ ابْنَةُ عَمِّي وَخَالَتُهَا تَحْتِي. وَقَالَ زَيْدٌ ابْنَةُ أَخِي. فَقَضَى بِهَا النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم لِخَالَتِهَا. وَقَالَ " الْخَالَةُ بِمَنْزِلَةِ الأُمِّ ". وَقَالَ لِعَلِيٍّ " أَنْتَ مِنِّي وَأَنَا مِنْكَ ". وَقَالَ لِجَعْفَرٍ " أَشْبَهْتَ خَلْقِي وَخُلُقِي ". وَقَالَ لِزَيْدٍ " أَنْتَ أَخُونَا وَمَوْلاَنَا ".

訳：

バラー رضى الله عنه は言いました。預言者 ﷺ はズル・カアダ月にウムラに出かけましたが、マッカの人々は彼がマッカに入ることを許しませんでした。そこで（翌年来て）3日間滞在するという条件で彼らと和約を結びました。協定を書く時、彼らは「これはアッラーの使徒ムハンマド ﷺ が合意したものである」と書きました。彼らは言いました。「それは認めない。あなたがアッラーの使徒だと知っていたら、あなたを止めはしなかった。だがあなたはムハンマド・ブン・アブドゥッラーだ。」彼は言われました。「私はアッラーの使徒であり、ムハンマド・ブン・アブドゥッラーである。」そしてアリーに「『アッラーの使徒』を消しなさい」と言われました。***アリーは言いました。「いいえ。アッラーにかけて、私は決してあなたを消しません。」*** そこでアッラーの使徒 ﷺ は文書を取ってこう書かれました。「これはムハンマド・ブン・アブドゥッラーが合意したものである。鞘に入っていない武器はマッカに持ち込まない。マッカの住民のうち、彼に従いたい者がいても連れ出さない。彼の仲間のうち、そこに留まりたい者を妨げない。」（翌年）彼がマッカに入り、期限が過ぎると、彼らはアリーのもとに来て言いました。「あなたの仲間に言いなさい。私たちのところから出て行くように。期限は過ぎた。」そこで預言者 ﷺ は出発されました。するとハムザの娘が「おじさん、おじさん」と呼びながら後を追ってきました。アリーは彼女を抱き取って手を取り、ファーティマに「あなたのいとこだ。抱いてやりなさい」と言いました。それからアリ

ー、ザイド、ジャアファルが彼女をめぐって言い争いました。アリーは「私の方がふさわしい。彼女は私のおじの娘だ」と言いました。ジャアファルは「彼女は私のおじの娘で、彼女の母方のおばは私の妻だ」と言いました。ザイドは「彼女は私の兄弟の娘だ」と言いました。預言者 ﷺ は彼女を母方のおばに預けると決め、「母方のおばは母と同じ立場である」と言われました。***そしてアリーに「あなたは私から出た者であり、私はあなたから出た者である」と言われました。*** ジャアファルには「あなたは姿も性格も私に似ている」と言われ、ザイドには「あなたは私たちの兄弟であり、私たちのマウラー（盟友）である」と言われました。

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：ウバイドゥッラー・ブン・ムーサー ← イスラーイール・ブン・ユーヌス ← アブー・イスハーク・アッ＝サビーイー ← バラー・ブン・アーズィブ رضي الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』和解の書、ハディース第 2699 番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： https://sunnah.com/bukhari:2699

「文書を取って書かれた」という言葉を、多くの学者は「書くように命じられた」、あるいは「アリーが場所を示した後、ご自身でその言葉を消された」と理解しています。アッラーの使徒 ﷺ は読み書きをしない*ウンミー*の預言者でした。

アリーが「アッラーの使徒」の文字を消すのを拒んだのは、不服従ではなく、深い愛と敬意からでした。アッラーの使徒 ﷺ はその気持ちを理解し、ご自身で事を収められました。

教訓

アッラーの使徒 ﷺ は、当時最も重要な文書を書く役にアリーを選ばれました。それは彼の知識と誠実さへの信頼のしるしでした。***「あなたは私から出た者であり、私はあなたから出た者である」*** という言葉は、二人の近さを示しています。このハデ

ィースはまた、アッラーの使徒 ﷺ が協定において、より大きな利益のために言葉の上で譲る用意があったことも教えています。

ハイバル：アリーの手にある旗

ヒジュラ暦 7 年ムハッラム月、アッラーの使徒 ﷺ はムスリム軍を率いて、マディーナの北約 150km にある*ハイバル*へ向かいました。ナツメヤシの林と、ユダヤ教徒の堅固な砦がある肥沃な土地です。いくつかの砦は何日も持ちこたえました。そしてある夕方、アッラーの使徒 ﷺ は、教友たちがその夜眠れなくなるような言葉を口にされました。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 3701 番

حَدَّثَنَا قُتَيْبَةُ بْنُ سَعِيدٍ، حَدَّثَنَا عَبْدُ الْعَزِيزِ، عَنْ أَبِي حَازِمٍ، عَنْ سَهْلِ بْنِ سَعْدٍ ـ رضى الله عنه ـ أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ " لأُعْطِيَنَّ الرَّايَةَ غَدًا رَجُلاً يَفْتَحُ اللَّهُ عَلَى يَدَيْهِ " قَالَ فَبَاتَ النَّاسُ يَدُوكُونَ لَيْلَتَهُمْ أَيُّهُمْ يُعْطَاهَا فَلَمَّا أَصْبَحَ النَّاسُ، غَدَوْا عَلَى رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم كُلُّهُمْ يَرْجُو أَنْ يُعْطَاهَا فَقَالَ " أَيْنَ عَلِيُّ بْنُ أَبِي طَالِبٍ ". فَقَالُوا يَشْتَكِي عَيْنَيْهِ يَا رَسُولَ اللَّهِ. قَالَ " فَأَرْسِلُوا إِلَيْهِ فَأْتُونِي بِهِ ". فَلَمَّا جَاءَ بَصَقَ فِي عَيْنَيْهِ، وَدَعَا لَهُ، فَبَرَأَ حَتَّى كَأَنْ لَمْ يَكُنْ بِهِ وَجَعٌ، فَأَعْطَاهُ الرَّايَةَ. فَقَالَ عَلِيٌّ يَا رَسُولَ اللَّهِ أُقَاتِلُهُمْ حَتَّى يَكُونُوا مِثْلَنَا فَقَالَ " انْفُذْ عَلَى رِسْلِكَ حَتَّى تَنْزِلَ بِسَاحَتِهِمْ، ثُمَّ ادْعُهُمْ إِلَى الإِسْلاَمِ، وَأَخْبِرْهُمْ بِمَا يَجِبُ عَلَيْهِمْ مِنْ حَقِّ اللَّهِ فِيهِ، فَوَاللَّهِ لأَنْ يَهْدِيَ اللَّهُ بِكَ رَجُلاً وَاحِدًا خَيْرٌ لَكَ مِنْ أَنْ يَكُونَ لَكَ حُمْرُ النَّعَمِ ".

訳：

サフル・ブン・サアド رضى الله عنه は、アッラーの使徒 ﷺ がこう言われたと伝えています。*「明日、私はこの旗を、アッラーがその両手によって勝利を与えられる男に渡そう。」* サフルは言いました。人々は、誰がそれを渡されるのかを話し合いながら夜を過ごしました。朝になると、皆それぞれ自分が渡されることを願いながらアッラーの使徒 ﷺ のもとへ行きました。彼は「アリー・ブン・アビー・ターリブはどこにいるか」と尋ねられました。人々は「アッラーの使徒よ、彼は目を患っています」と答えました。彼は「人を遣って彼を連れて来なさい」と言われました。アリーが来ると、彼はその両目

に（軽く）唾をつけて祈られ、アリーはまるで痛みなどなかったかのように癒えました。そして旗を彼に渡されました。アリーは言いました。「アッラーの使徒よ、彼らが私たちのようになるまで戦うべきでしょうか。」彼は言われました。***「落ち着いて進み、彼らの地に着いたら、彼らをイスラームに招き、アッラーの権利として彼らに課されることを伝えなさい。アッラーにかけて、アッラーがあなたを通じて一人の人を導かれることは、あなたにとって赤いラクダを持つことよりも良いのだ。」***

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：クタイバ・ブン・サイード ← アブドゥルアズィーズ・ブン・アビー・ハーズィム ← アブー・ハーズィム・サラマ・ブン・ディーナール ← サフル・ブン・サアド رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』預言者 ﷺ の教友の美徳の書、ハディース第 3701 番。

等級： サヒーフ（真正）—『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

*典拠：*https://sunnah.com/bukhari:3701

「赤いラクダ」（*フムル・アン＝ナアム*）は、当時のアラブ人にとって最も貴重な財産でした。アッラーの使徒 ﷺ は、アリーが戦の旗を手にしたまさにその時、本当の目的は勝利だけではなく***導き***であることを思い出させたのです。

アリーとマルハブ

サラマ・ブン・アル＝アクワ رضى الله عنه の伝承では、ハイバルの勇士 ***マルハブ***が詩を唱えながら挑戦してきました。アリーも詩で応じました。***「私は母がハイダラ（獅子）と名付けた者……」*** そしてマルハブの頭を打って倒しました。その後、勝利は彼の手によってもたらされました（『サヒーフ・ムスリム』1807）。

スィーラの注：アリーがハイバルの門を引き抜いた話

スィーラの書は、アリーが盾を落とし、砦の門の一つを引き抜いて盾として使い、後で8人の男でもその門を持ち上げられなかった、と伝えています。

この話は説教や物語の本でよく語られます。しかし伝承経路は弱く、イブン・イスハークは名前の分からない人物からこれを伝えています。アリーの力と、ハイバルが彼の手で開かれたことは、真正なハディースですでに確かなので、弱い話に頼る必要はありません。

伝承の状態： ダイーフ（弱い）— 伝承経路が途切れています（身元不明の伝承者がいます）。

参照：

イブン・ヒシャーム『預言者伝』ハイバルの章；イブン・カスィール『始まりと終わり』。

教訓

旗は、それを最も熱心に望んだ人ではなく、別の伝承にあるように「アッラーとその使徒を愛し、アッラーとその使徒に愛される」人に渡されました（『サヒーフ・ブハーリー』3702）。名誉は有名になりたいという願いからではなく、アッラーから来るのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ムーサーに対するハールーンの立場

ヒジュラ暦 9 年ラジャブ月、アッラーの使徒 ﷺ はビザンツの脅威に対し、生涯で最大の軍を率いて**タブーク**へ出発しました。この時はアリーを連れて行かず、家族の世話をするためマディーナに残されました。

偽信者たちは、アリーが足手まといと見なされて残されたのだと言い始めました。アリーは悲しみ、アッラーの使徒 ﷺ に追いつきました。その時の答えは、アリーの最もよく知られた美徳の一つとして残っています。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 4416 番

حَدَّثَنَا مُسَدَّدٌ، حَدَّثَنَا يَحْيَى، عَنْ شُعْبَةَ، عَنِ الْحَكَمِ، عَنْ مُصْعَبِ بْنِ سَعْدٍ، عَنْ أَبِيهِ، أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم خَرَجَ إِلَى تَبُوكَ، وَاسْتَخْلَفَ عَلِيًّا فَقَالَ أَتُخَلِّفُنِي فِي الصِّبْيَانِ وَالنِّسَاءِ قَالَ " أَلاَ تَرْضَى أَنْ تَكُونَ مِنِّي بِمَنْزِلَةِ هَارُونَ مِنْ مُوسَى إِلاَّ أَنَّهُ لَيْسَ نَبِيٌّ بَعْدِي ". وَقَالَ أَبُو دَاوُدَ حَدَّثَنَا شُعْبَةُ عَنِ الْحَكَمِ سَمِعْتُ مُصْعَبًا.

訳：

サアド・ブン・アビー・ワッカース رضى الله عنه は、アッラーの使徒 ﷺ がタブークへ出発し、アリーを（マディーナでの）代理に任じたと伝えています。アリーは「私を子どもたちと女性たちと一緒に残して行かれるのですか」と言いました。彼は言われました。***「あなたは、私にとって、ムーサーに対するハールーンのような立場にあることに満足しないのか。ただし、私の後に預言者はいない。」*** アブー・ダーウード（アッ＝タヤーリスィー）は言いました。シュウバがハカムから私たちに伝えました。私はムスアブから（これを）聞きました。

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：ムサッダド ← ヤフヤー・ブン・サイード・アル＝カッターン ← シュウバ ← ハカム・ブン・ウタイバ ← ムスアブ・ブン・サアド ← その父サアド・ブン・アビー・ワッカース رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』遠征の書、ハディース第 4416 番。

等級： サヒーフ（真正）—『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： https://sunnah.com/bukhari:4416

預言者ムーサー عَلَيْهِ السَّلَامُ が 40 夜の間、主とお会いするためにトゥール山へ行った時、民の世話をするよう兄弟の預言者ハールーン عَلَيْهِ السَّلَامُ を残しました（高壁章 7:142）。同じようにアッラーの使徒 ﷺ は、家族の世話のためにアリーを残されたのです。

注：「私の後に預言者はいない」の意味

アッラーの使徒 ﷺ ご自身が、たとえの限界を明らかにされました。アリーは近さ、信頼、家族を守る務めにおいてハールーンのようですが、***預言者としてではありません。*** 預言者の位は預言者ムハンマド ﷺ で終わったからです。

スンナ派の学者たちは、このハディースがアリーの大きな美徳を示すものの、預言者 ﷺ の後のカリフ位についての明文ではないと説明しています。預言者ハールーン عَلَيْهِ السَّلَامُ 自身が、預言者ムーサー عَلَيْهِ السَّلَامُ より先に亡くなっているからです。

参照：

イブン・ハジャル『ファトフ・アル＝バーリー』第 4416 番の注釈；ナワウィー『サヒーフ・ムスリム注釈』第 2404 番。

教訓

小さく見える務め、たとえば家族の世話のために残ることが、実は大きな信託であることがあります。アリーはジハードに加われないことを悲しみましたが、アッラーの使徒 ﷺ はその務めの本当の価値を示して彼を慰められました。イスラームのための働きには、どの役割にもそれぞれの名誉があります。

アフル・アル＝バイト：ムバーハラの節と外套のハディース

ヒジュラ暦9年、*ナジュラーン*からキリスト教徒の使節団がマディーナに来て、預言者イーサー عَلَيْهِ السَّلَامُ についてアッラーの使徒 ﷺ と論争しました。アッラーは、彼らを*ムバーハラ*、すなわち偽りを言う側にアッラーの呪いが下るよう互いに祈ることに招くよう命じられました。

イムラーン家章 3:61

فَمَنْ حَآجَّكَ فِيهِ مِنۢ بَعْدِ مَا جَآءَكَ مِنَ ٱلْعِلْمِ فَقُلْ تَعَالَوْا۟ نَدْعُ أَبْنَآءَنَا وَأَبْنَآءَكُمْ وَنِسَآءَنَا وَنِسَآءَكُمْ وَأَنفُسَنَا وَأَنفُسَكُمْ ثُمَّ نَبْتَهِلْ فَنَجْعَل لَّعْنَتَ ٱللَّهِ عَلَى ٱلْكَٰذِبِينَ ﴿٦١﴾

（イーサーに関する）真実の知識があなたに下された後，もしかれに就いてあなたと議論する者があれば，言ってやるがいい。「さあ，わたしたちの子孫とあなたがたの子孫，わたしたちの妻たちとあなたがたの妻たち，わたしたちとあなたがたを一緒に呼んで，アッラーの御怒りが嘘付き者の上に下るように祈ろう。」

訳：三田了一 — quran.com/3:61

サアド・ブン・アビー・ワッカース رضى الله عنه の伝えるところでは、この節が下ると、アッラーの使徒 ﷺ は*アリー、ファーティマ、ハサン、フサイン*を呼び、*「アッラーよ、これが私の家族です」*と言われました（『サヒーフ・ムスリム』2404）。ナジュラーンの使節団はムバーハラを避け、人頭税（ジズヤ）を払って和平を結ぶことを選びました。

外套（キサー）のハディース

もう一つの真正なハディースが、アッラーの使徒 ﷺ のアフル・アル＝バイト（家の人々）の中でのアリーの位置を示しています。

ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』第 2424 番

حَدَّثَنَا أَبُو بَكْرِ بْنُ أَبِي شَيْبَةَ، وَمُحَمَّدُ بْنُ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ نُمَيْرٍ، - وَاللَّفْظُ لأَبِي بَكْرٍ - قَالاَ حَدَّثَنَا مُحَمَّدُ بْنُ بِشْرٍ، عَنْ زَكَرِيَّاءَ، عَنْ مُصْعَبِ بْنِ شَيْبَةَ، عَنْ صَفِيَّةَ بِنْتِ شَيْبَةَ، قَالَتْ قَالَتْ عَائِشَةُ خَرَجَ النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم غَدَاةً وَعَلَيْهِ مِرْطٌ مُرَحَّلٌ مِنْ شَعْرٍ أَسْوَدَ فَجَاءَ الْحَسَنُ بْنُ عَلِيٍّ فَأَدْخَلَهُ ثُمَّ جَاءَ الْحُسَيْنُ فَدَخَلَ مَعَهُ ثُمَّ جَاءَتْ فَاطِمَةُ فَأَدْخَلَهَا ثُمَّ جَاءَ عَلِيٌّ فَأَدْخَلَهُ ثُمَّ قَالَ { إِنَّمَا يُرِيدُ اللَّهُ لِيُذْهِبَ عَنْكُمُ الرِّجْسَ أَهْلَ الْبَيْتِ وَيُطَهِّرَكُمْ تَطْهِيرًا }

訳：

アーイシャ رضى الله عنها は言いました。預言者 ﷺ はある朝、黒い毛で織られた模様入りの外套（*ミルト・ムラッハル*）をまとって出て来られました。ハサン・ブン・アリーが来ると、彼を（外套の中に）入れられました。次にフサインが来て、一緒に中に入りました。次にファーティマが来ると、彼女を入れられました。次にアリーが来ると、彼を入れられました。そして次の節を唱えられました。 ***「アッラーは、家の人々よ、あなたがたから汚れを取り除き、あなたがたを完全に清めようと望まれる。」***

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：アブー・バクル・ブン・アビー・シャイバ ← ムハンマド・ブン・アブドゥッラー・ブン・ヌマイル ← ムハンマド・ブン・ビシュル・アル＝アブディー ← ザカリーヤー・ブン・アビー・ザーイダ ← ムスアブ・ブン・シャイバ ← サフィーヤ・ビント・シャイバ ← アーイシャ رضى الله عنها。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』教友の美徳の書、ハディース第 2424 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ムスリム』に収録。最も真正な二つのハディース集（二サヒーフ）の一つである。

典拠： https://sunnah.com/muslim:2424

アッラーの使徒 ﷺ が唱えられたのは、部族連合章の一節の一部です。

部族連合章 33:33

وَقَرْنَ فِي بُيُوتِكُنَّ وَلَا تَبَرَّجْنَ تَبَرُّجَ ٱلْجَٰهِلِيَّةِ ٱلْأُولَىٰ ۖ وَأَقِمْنَ ٱلصَّلَوٰةَ وَءَاتِينَ ٱلزَّكَوٰةَ وَأَطِعْنَ ٱللَّهَ وَرَسُولَهُۥٓ ۚ إِنَّمَا يُرِيدُ ٱللَّهُ لِيُذْهِبَ عَنكُمُ ٱلرِّجْسَ أَهْلَ ٱلْبَيْتِ وَيُطَهِّرَكُمْ تَطْهِيرًا ﴿٣٣﴾

あなたがたの家に静かにして，以前の無知時代のように，目立つ飾りをしてはならない。礼拝の務めを守り，定めの施しをなし，アッラーと使徒に従順であれ。家の者たちよ，アッラーはあなたがたから不浄を払い，あなたがたが清浄であることを望まれる。

訳：三田了一 — quran.com/33:33

注：アフル・アル＝バイトとは誰か

33:33 の節は、アッラーの使徒 ﷺ の妻たちに向けた文脈の中で下りました。そのためスンナ派の学者たちは、***彼の妻たちはアフル・アル＝バイトに含まれる***と説明し、外套のハディースは***アリー、ファーティマ、ハサン、フサインもアフル・アル＝バイトに含まれる***ことを示していると説明します。

アフル・アル＝バイトを愛することは信仰の一部です。同時にスンナ派は、彼らをアッラーとその使徒が与えた位より高く上げることはせず、他の教友たちを悪く言うこともしません。

参照：

イブン・カスィール『偉大なるクルアーンの解釈』（部族連合章 33:33）；ナワウィー『サヒーフ・ムスリム注釈』。

教訓

アッラーの使徒 ﷺ は家族を一枚の外套の下に集め、彼らの清らかさのために祈られました。信仰の上に築かれた家族は、尊い家族です。ムスリムは皆、アッラーの使徒 ﷺ の家族を愛し、サラワート（預言者への祝福の祈り）の中で彼らのために祈り、その人柄を手本とすべきです。

バラーア章の告知者、イエメンの裁判官

ヒジュラ暦 9 年の巡礼の季節、アッラーの使徒 ﷺ は *アブー・バクル・アッ＝スィッディーク* رضى الله عنه を巡礼団の長に任じられました。その後、多神教徒との協定の終わりを告げる悔悟章（バラーア章）の冒頭が下りました。

悔悟章 9:3

وَأَذَٰنٌ مِّنَ ٱللَّهِ وَرَسُولِهِۦٓ إِلَى ٱلنَّاسِ يَوْمَ ٱلْحَجِّ ٱلْأَكْبَرِ أَنَّ ٱللَّهَ بَرِىٓءٌ مِّنَ ٱلْمُشْرِكِينَ وَرَسُولُهُۥ ۚ فَإِن تُبْتُمْ فَهُوَ خَيْرٌ لَّكُمْ ۖ وَإِن تَوَلَّيْتُمْ فَٱعْلَمُوٓا۟ أَنَّكُمْ غَيْرُ مُعْجِزِى ٱللَّهِ ۗ وَبَشِّرِ ٱلَّذِينَ كَفَرُوا۟ بِعَذَابٍ أَلِيمٍ ﴿٣﴾

（これは）アッラーとその使徒から，偉大な巡礼の日にあたり，人びとへの（布告された）宣言。「本当にアッラーは，多神教徒と（の盟約）を解約された，その使徒にしても同じこと。それであなたがたがもし悔悟するならば，あなたがたのため最もよい。もし背き去るならば，アッラー（の計画）をあなたがたは頓挫させられないことを知れ。」信仰を拒否する者たちには，痛苦の懲罰を告げてやれ。

訳：三田了一 — quran.com/9:3

アッラーの使徒 ﷺ は、ミナーで人々にこれらの節を告げさせるため、アリーを彼らの後に遣わされました。次のハディースがそのことを伝えています。

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』第 4656 番

حَدَّثَنَا عَبْدُ اللَّهِ بْنُ يُوسُفَ، حَدَّثَنَا اللَّيْثُ، حَدَّثَنِي عُقَيْلٌ، قَالَ ابْنُ شِهَابٍ فَأَخْبَرَنِي حُمَيْدُ بْنُ عَبْدِ الرَّحْمَنِ، أَنَّ أَبَا هُرَيْرَةَ، قَالَ بَعَثَنِي أَبُو بَكْرٍ ـ رضى الله عنه ـ فِي تِلْكَ الْحَجَّةِ فِي الْمُؤَذِّنِينَ، بِعَثَهُمْ يَوْمَ النَّحْرِ يُؤَذِّنُونَ بِمِنًى أَنْ لاَ يَحُجَّ بَعْدَ الْعَامِ مُشْرِكٌ، وَلاَ يَطُوفَ بِالْبَيْتِ عُرْيَانٌ. قَالَ حُمَيْدٌ ثُمَّ أَرْدَفَ النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم بِعَلِيِّ بْنِ أَبِي طَالِبٍ، فَأَمَرَهُ أَنْ

يُؤَذِّنَ بِبَرَاءَةَ. قَالَ أَبُو هُرَيْرَةَ فَأَذَّنَ مَعَنَا عَلِيٌّ فِي أَهْلِ مِنًى يَوْمَ النَّحْرِ بِبَرَاءَةَ، وَأَنْ لاَ يَحُجَّ بَعْدَ الْعَامِ مُشْرِكٌ، وَلاَ يَطُوفَ بِالْبَيْتِ عُرْيَانٌ.

訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه は言いました。アブー・バクル رضى الله عنه はその巡礼で、告知をする人々の中に私を加えて遣わしました。犠牲祭の日にミナーで「今年の後は、多神教徒は巡礼をしてはならず、誰も裸でカアバを回ってはならない」と告げさせるためでした。フマイドは言いました。その後、預言者 ﷺ は***アリー・ブン・アビー・ターリブ***を後から遣わし、バラーア（章）を告げるよう命じられました。アブー・フライラは言いました。そこでアリーは犠牲祭の日に、ミナーの人々に向けて私たちと共に、バラーアと、今年の後は多神教徒は巡礼をしてはならず、誰も裸でカアバを回ってはならないことを告げました。

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：アブドゥッラー・ブン・ユースフ ← ライス・ブン・サアド ← ウカイル・ブン・ハーリド ← イブン・シハーブ・アッ＝ズフリー ← フマイド・ブン・アブドゥッラフマーン ← アブー・フライラ رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』クルアーン解釈の書、ハディース第 4656 番。

等級： サヒーフ（真正）―『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

*典拠：*https://sunnah.com/bukhari:4656

アブー・バクルは巡礼団の長のままで、アリーの役目はその指揮の下でバラーアを告げることでした。学者たちは、アラブの慣習では、協定の破棄は協定を結んだ者の近親者が告げるものだったと説明しています。二人の偉大な教友が、一つの務めのために協力したのです。

イエメンの裁判官（ヒジュラ暦 10 年）

ヒジュラ暦 10 年、アッラーの使徒 ﷺ はアリーを裁判官として***イエメン***に遣わされました。アリーは「アッラーの使徒よ、私はまだ若く、裁判のことを知らないのに遣わされるのですか」と言いました。彼は言われました。***「アッラーはあなたの心を***

導き、あなたの舌を確かなものにされるだろう。」 そして双方の話を聞くまで判決を下さないよう助言されました。アリーは言いました。「その後、私は判決に迷ったことはありません」（『スナン・アビー・ダーウード』3582；アルバーニーは良好（ハサン）としています）。

ハディース：ガディール・フンム

別離の巡礼からの帰り道、ガディール・フンムという場所で、アッラーの使徒 ﷺ はアリーについてこう言われました。***「私が誰かのマウラーであるなら、アリーもその人のマウラーである。」***

この言葉のきっかけは、アリーと共にイエメンから戻った教友の何人かが、戦利品の分配における彼の厳しさを訴えたことでした。アッラーの使徒 ﷺ は、人々が彼を愛し、敵視しないよう、アリーの立場を明らかにされたのです（『サヒーフ・ブハーリー』4350）。スンナ派の学者たちは、ここでの*マウラー*を***愛され、支えられる人***と理解し、カリフ任命の明文とは考えていません。

等級： サヒーフ（真正）— 『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』3713；ティルミズィーは良好（ハサン）、アルバーニーは真正としています。

教訓

アリーは、知識と決断力が求められる務めを任されました。何千人もの巡礼者の前でアッラーの定めを告げること、そして一つの国全体で裁判を行うことです。アッラーの使徒 ﷺ の祈りは、生涯にわたって彼の糧となりました。ミナーでのアリーとアブー・バクルの協力は、教友たちが一つのチームとして働いていたことも示しています。

アブー・トゥラーブ：アリーの家の質素な暮らし

アリーが最も好んだ呼び名は、アミール・アル＝ムウミニーン（信徒たちの長）ではなく、*アブー・トゥラーブ*、「土の父」でした。この名は、愛情に満ちたある出来事の中で、アッラーの使徒ﷺご自身が付けられたものです。

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』第 3703 番

حَدَّثَنَا عَبْدُ اللَّهِ بْنُ مَسْلَمَةَ، حَدَّثَنَا عَبْدُ الْعَزِيزِ بْنُ أَبِي حَازِمٍ، عَنْ أَبِيهِ، أَنَّ رَجُلاً، جَاءَ إِلَى سَهْلِ بْنِ سَعْدٍ فَقَالَ هَذَا فُلاَنٌ ـ لأَمِيرِ الْمَدِينَةِ ـ يَدْعُو عَلِيًّا عِنْدَ الْمِنْبَرِ. قَالَ فَيَقُولُ مَاذَا قَالَ يَقُولُ لَهُ أَبُو تُرَابٍ. فَضَحِكَ قَالَ وَاللَّهِ مَا سَمَّاهُ إِلاَّ النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم، وَمَا كَانَ لَهُ اسْمٌ أَحَبَّ إِلَيْهِ مِنْهُ. فَاسْتَطْعَمْتُ الْحَدِيثَ سَهْلاً، وَقُلْتُ يَا أَبَا عَبَّاسٍ كَيْفَ قَالَ دَخَلَ عَلِيٌّ عَلَى فَاطِمَةَ ثُمَّ خَرَجَ فَاضْطَجَعَ فِي الْمَسْجِدِ، فَقَالَ النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم " أَيْنَ ابْنُ عَمِّكِ ". قَالَتْ فِي الْمَسْجِدِ. فَخَرَجَ إِلَيْهِ فَوَجَدَ رِدَاءَهُ قَدْ سَقَطَ عَنْ ظَهْرِهِ، وَخَلَصَ التُّرَابُ إِلَى ظَهْرِهِ، فَجَعَلَ يَمْسَحُ التُّرَابَ عَنْ ظَهْرِهِ فَيَقُولُ " اجْلِسْ يَا أَبَا تُرَابٍ ". مَرَّتَيْنِ.

訳：

アブー・ハーズィムの伝えるところでは、ある男がサフル・ブン・サアドのもとに来て言いました。「あの某が — マディーナの総督のことです — 説教壇でアリーのことを話しています。」サフルは「何と言っているのか」と尋ねました。男は「彼をアブー・トゥラーブと呼んでいます」と答えました。サフルは笑って言いました。*「アッラーにかけて、その名を付けたのは預言者ﷺだけであり、彼にとってそれより好ましい名はなかった。」* 私（アブー・ハーズィム）はサフルにその話を聞かせてほしいと頼み、「アブー・アッバースよ、どういうことだったのですか」と言いました。サフルは言いました。アリーはファーティマのところに入り、それから出て来てモスクで横になりました。預言者ﷺは（ファーティマに）「あなたのいとこはどこにいるのか」と尋ねられました。彼女は「モスクにいます」と答えました。そこで彼のもとへ行かれると、彼の上衣は背中からずり落ち、背中に土がついていました。彼はその背中の土を払いながら、2度こう言われました。*「起きて座りなさい、アブー・トゥラーブよ。」*

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：アブドゥッラー・ブン・マスラマ ← アブドゥルアズィーズ・ブン・アビー・ハーズィム ← その父アブー・ハーズィム ← サフル・ブン・サアド رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』預言者 ﷺ の教友の美徳の書、ハディース第 3703 番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： https://sunnah.com/bukhari:3703

総督は「アブー・トゥラーブ」という名でアリーをおとしめようとしましたが、サフルは、その名が実はアッラーの使徒 ﷺ の愛情のこもった思い出であることを明らかにしました。悪口のつもりで言われたものが、実は名誉だったのです。

ファーティマのタスビーフ

アリーとファーティマの暮らしはとても質素でした。ファーティマは自分の手で穀物をひき、手を痛めていました。二人が捕虜の中から使用人を求めると、アッラーの使徒 ﷺ はそれよりも良いものを与えられました。

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』第 3705 番

حَدَّثَنِي مُحَمَّدُ بْنُ بَشَّارٍ، حَدَّثَنَا غُنْدَرٌ، حَدَّثَنَا شُعْبَةُ، عَنِ الْحَكَمِ، سَمِعْتُ ابْنَ أَبِي لَيْلَى، قَالَ حَدَّثَنَا عَلِيٌّ، أَنَّ فَاطِمَةَ، عَلَيْهَا السَّلاَمُ شَكَتْ مَا تَلْقَى مِنْ أَثَرِ الرَّحَا، فَأَتَى النَّبِيَّ صلى الله عليه وسلم سَبْيٌ، فَانْطَلَقَتْ فَلَمْ تَجِدْهُ، فَوَجَدَتْ عَائِشَةَ، فَأَخْبَرَتْهَا، فَلَمَّا جَاءَ النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم أَخْبَرَتْهُ عَائِشَةُ بِمَجِيءِ فَاطِمَةَ، فَجَاءَ النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم إِلَيْنَا، وَقَدْ أَخَذْنَا مَضَاجِعَنَا، فَذَهَبْتُ لأَقُومَ فَقَالَ " عَلَى مَكَانِكُمَا ". فَقَعَدَ بَيْنَنَا حَتَّى وَجَدْتُ بَرْدَ قَدَمَيْهِ عَلَى صَدْرِي وَقَالَ " أَلاَ أُعَلِّمُكُمَا خَيْرًا مِمَّا سَأَلْتُمَانِي إِذَا أَخَذْتُمَا مَضَاجِعَكُمَا تُكَبِّرَا أَرْبَعًا وَثَلاَثِينَ، وَتُسَبِّحَا ثَلاَثًا وَثَلاَثِينَ، وَتَحْمَدَا ثَلاَثَةً وَثَلاَثِينَ، فَهْوَ خَيْرٌ لَكُمَا مِنْ خَادِمٍ ".

訳：

アリー رضى الله عنه は伝えています。ファーティマは石臼の跡（が手に残ること）を訴えていました。その頃、預言者 ﷺ のもとに捕虜が連れて来られました。ファーティマは（彼に会いに）行きましたが会えず、アーイシャに会ってそのことを話しました。預言者 ﷺ が来られると、アーイシャはファーティマが来たことを伝えました。すると預言者 ﷺ は、私たちがすでに床についていた時に来られました。私が起き上がろうとすると、彼は「そのままでいなさい」と言われました。そして私たちの間に座られ、私は胸に彼の足の冷たさを感じました。彼は言われました。 ***「あなたがたが私に求めたものよりも良いものを教えようか。床についたら、アッラーフ・アクバル（アッラーは偉大なり）を 34 回、スブハーナッラー（アッラーに栄光あれ）を 33 回、アル＝ハムドゥ・リッラー（アッラーに讃えあれ）を 33 回唱えなさい。それはあなたがたにとって使用人よりも良い。」***

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：ムハンマド・ブン・バッシャール ← グンダル ← シュウバ ← ハカム・ブン・ウタイバ ← アブドゥッラフマーン・ブン・アビー・ライラー ← アリー・ブン・アビー・ターリブ رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』預言者 ﷺ の教友の美徳の書、ハディース第 3705 番。

等級： サヒーフ（真正）—『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： https://sunnah.com/bukhari:3705

アリーは、アッラーの使徒 ﷺ からこのズィクル（念唱）を聞いて以来、スィッフィーンの戦いの夜でさえ一度も欠かさなかったと語っています（『サヒーフ・ブハーリー』5362）。

教訓

アッラーの使徒 ﷺ は、もっと困っている人がいたため、自分の娘にさえ使用人を与えませんでした。その代わりに、心の力となるズィクルを与えられました。寝る前のズィクル — スブハーナッラー33 回、アル＝ハムドゥ・リッラー33 回、アッラー

フ・アクバル 34 回 — は、この世の用事に疲れたすべてのムスリムへの、アリーとファーティマの家からの遺産です。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

アリーを愛することは信仰のしるし

アリーの最も大きな美徳の一つは、彼を愛する者と憎む者について、アッラーの使徒 ﷺ が彼に与えた約束です。アリー自身が誓いを立ててこれを伝えています。

ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』第 78 番

حَدَّثَنَا أَبُو بَكْرِ بْنُ أَبِي شَيْبَةَ، حَدَّثَنَا وَكِيعٌ، وَأَبُو مُعَاوِيَةَ عَنِ الأَعْمَشِ، ح وَحَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ يَحْيَى، - وَاللَّفْظُ لَهُ - أَخْبَرَنَا أَبُو مُعَاوِيَةَ، عَنِ الأَعْمَشِ، عَنْ عَدِيِّ بْنِ ثَابِتٍ، عَنْ زِرٍّ، قَالَ قَالَ عَلِيٌّ وَالَّذِي فَلَقَ الْحَبَّةَ وَبَرَأَ النَّسَمَةَ إِنَّهُ لَعَهْدُ النَّبِيِّ الأُمِّيِّ صلى الله عليه وسلم إِلَىَّ أَنْ لاَ يُحِبَّنِي إِلاَّ مُؤْمِنٌ وَلاَ يُبْغِضَنِي إِلاَّ مُنَافِقٌ .

訳：

ズィッル（・ブン・フバイシュ）は言いました。アリーは言いました。*「種を割り、魂を創造された御方にかけて。文字を読まない預言者 ﷺ が私に約束されたのは、信仰者でなければ私を愛さず、偽信者でなければ私を憎まない、ということである。」*

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・ブン・ヤフヤー ← アブー・ムアーウィヤ ← アアマシュ ← アディー・ブン・サービト ← ズィッル・ブン・フバイシュ ← アリー・ブン・アビー・ターリブ رضي الله عنه。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』信仰の書、ハディース第 78 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ムスリム』に収録。最も真正な二つのハディース集（二サヒーフ）の一つである。

典拠： https://sunnah.com/muslim:78

同じようなハディースが***アンサール***（マディーナの援助者たち）についても伝えられています。「信仰のしるしはアンサールを愛することであり、偽信のしるしはアンサールを憎むことである」（『サヒーフ・ブハーリー』17）。ですから、アリーを愛すること、アンサールを愛すること、そしてアッラーの使徒 ﷺ のすべての教友を愛することは、信仰のしるしです。

天国を約束された 10 人

アリーはまた、アッラーの使徒 ﷺ が一つのハディースの中で天国の住人として名を挙げた 10 人の教友の一人です。アブー・バクル、ウマル、ウスマーン、アリー、タルハ、ズバイル、アブドゥッラフマーン・ブン・アウフ、サアド・ブン・アビー・ワッカース、サイード・ブン・ザイド、アブー・ウバイダ・ブン・アル＝ジャッラーフです（『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』3747；アルバーニーは真正としています）。

教訓

アリーへの愛は単なる感情ではなく、信仰の物差しです。しかし本当の愛は、アッラーの使徒 ﷺ の導きに従います。アブー・バクル、ウマル、ウスマーンを憎まずにアリーを愛し、教友たちを悪く言わずにアフル・アル＝バイトを愛することです。信仰者は彼ら全員を愛します。アッラーの使徒 ﷺ が彼ら全員を愛されたからです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

アリーの知識と知恵

アリーは、クルアーンが下り始めた時からそれと共に育ちました。啓示の書記の一人であり、教友の中でも最も知識の広い人の一人でした。ウマル・ブン・アル＝ハッターブ رضي الله عنه 自身がこう言っています。 ***「私たちの中でクルアーンを最もよく読むのはウバイであり、最もよく裁くのはアリーである」*** （『サヒーフ・ブハーリー』4481）。

アッラーの使徒 ﷺ の死後、アリーには他の人に与えられなかった秘密の知識があると考える人々がいました。アリーはそれをはっきりと否定しました。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 111 番

حَدَّثَنَا مُحَمَّدُ بْنُ سَلاَمٍ، قَالَ أَخْبَرَنَا وَكِيعٌ، عَنْ سُفْيَانَ، عَنْ مُطَرِّفٍ، عَنِ الشَّعْبِيِّ، عَنْ أَبِي جُحَيْفَةَ، قَالَ قُلْتُ لِعَلِيٍّ هَلْ عِنْدَكُمْ كِتَابٌ قَالَ لاَ، إِلاَّ كِتَابُ اللَّهِ، أَوْ فَهْمٌ أُعْطِيَهُ رَجُلٌ مُسْلِمٌ، أَوْ مَا فِي هَذِهِ الصَّحِيفَةِ. قَالَ قُلْتُ فَمَا فِي هَذِهِ الصَّحِيفَةِ قَالَ الْعَقْلُ، وَفَكَاكُ الأَسِيرِ، وَلاَ يُقْتَلُ مُسْلِمٌ بِكَافِرٍ.

訳：

アブー・ジュハイファ رضي الله عنه は言いました。私はアリーに「あなたがた（アフル・アル＝バイト）には（クルアーン以外の）書物がありますか」と尋ねました。彼は言いました。 ***「いいえ。あるのはアッラーの書と、ムスリムの男性に与えられる理解と、この紙に書かれたものだけだ。」*** 私が「その紙には何が書いてあるのですか」と尋ねると、彼は「血の代償、捕虜の解放、そしてムスリムは不信仰者（を殺したこと）のゆえに殺されないということ（の規定）だ」と答えました。

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：ムハンマド・ブン・サラーム ← ワキーウ・ブン・アル＝ジャッラーフ ← スフヤーン・アッ＝サウリー ← ムタッリフ・ブン・タリーフ ← シャアビー ← アブー・ジュハイファ رضي الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』知識の書、ハディース第 111 番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： https://sunnah.com/bukhari:111

このハディースが重要なのは、アッラーの使徒 ﷺ がウンマの知らない特別な知識をアフル・アル＝バイトに残したという主張を、アリー自身が否定しているからです。知識の源はクルアーン、スンナ、そして学ぼうと努める人にアッラーが与える理解です。

注：「私は知識の町であり、アリーはその門である」というハディース

「私は知識の町であり、アリーはその門である」というハディースはとても広く知られています。ハーキムが伝えており、ティルミズィーは「私は知恵の家であり、アリーはその門である」という言葉で伝えています（『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』3723）。

しかし多くのハディース学者はこれを***弱い（ダイーフ）***とし、一部は捏造とさえしています。ティルミズィー自身も*ガリーブ・ムンカル*（孤立し否認される）と述べています。アリーの広い知識は、真正な伝承によってすでに十分に証明されています。

参照：

ティルミズィー『アル＝ジャーミウ』（第 3723 番）；イブン・アル＝ジャウズィー『アル＝マウドゥーアート』；アルバーニー『スィルスィラ・ダイーファ』第 2955 番。

教訓

アリーは、知識は血筋で受け継がれるのではなく、熱心な学びとアッラーが与える理解によって得られることを教えています。また学問的な誠実さも教えています。たとえ自分を高めることになっても、真実でないことは否定するのです。本当の学者は、自分について事実でないことを人々に思わせたままにはしません。

三人のカリフと共に

ヒジュラ暦 11 年にアッラーの使徒ﷺが亡くなると、アリーと預言者の家族がその遺体を洗い、埋葬しました。ムスリムたちは *アブー・バクル・アッ＝スィッディーク* رضى الله عنه に最初のカリフとして忠誠を誓いました。

アリーは、ファーティマが病気の間、そして彼女が亡くなるまでの数か月、忠誠の誓いを遅らせました。その後、自らアブー・バクルとの面会を求め、その美徳を認め、モスクで人々の前で彼に忠誠を誓いました。ムスリムたちはこの和解を喜びました（『サヒーフ・ブハーリー』4240）。

カリフたちの相談役

アブー・バクル、ウマル、ウスマーンの時代を通じて、アリーは法の問題における相談役であり、頼りにされる人でした。ウマルは難しい問題についてしばしば彼の意見を求めました。アリーは娘の *ウンム・クルスーム* をウマルに嫁がせました。ウマルは刺された時、次のカリフを選ぶ 6 人の協議会（シューラー）にアリーを加えました（『サヒーフ・ブハーリー』3700）。

先のカリフたちに対するアリーの敬意は、彼の息子が伝える次のハディースにはっきり表れています。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 3671 番

حَدَّثَنَا مُحَمَّدُ بْنُ كَثِيرٍ، أَخْبَرَنَا سُفْيَانُ، حَدَّثَنَا جَامِعُ بْنُ أَبِي رَاشِدٍ، حَدَّثَنَا أَبُو يَعْلَى، عَنْ مُحَمَّدِ ابْنِ الْحَنَفِيَّةِ، قَالَ قُلْتُ لأَبِي أَىُّ النَّاسِ خَيْرٌ بَعْدَ رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ أَبُو بَكْرٍ. قُلْتُ ثُمَّ مَنْ قَالَ ثُمَّ عُمَرُ. وَخَشِيتُ أَنْ يَقُولَ عُثْمَانُ قُلْتُ ثُمَّ أَنْتَ قَالَ مَا أَنَا إِلاَّ رَجُلٌ مِنَ الْمُسْلِمِينَ.

訳：

ムハンマド・ブン・アル＝ハナフィーヤは言いました。私は父（アリー）に「アッラーの使徒 ﷺ の後で最も優れた人は誰ですか」と尋ねました。父は *「アブー・バクルだ」* と答えました。私が「その次は誰ですか」と尋ねると、 *「次はウマルだ」* と答えました。私は父がウスマーンと言うのではないかと心配して、「では次はあなたですか」と言いました。すると父は言いました。 *「私はムスリムの中の一人の男にすぎない。」*

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：ムハンマド・ブン・カスィール ← スフヤーン・アッ＝サウリー ← ジャーミウ・ブン・アビー・ラーシド ← アブー・ヤアラー・ムンズィル・アッ＝サウリー ← ムハンマド・ブン・アル＝ハナフィーヤ。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』預言者 ﷺ の教友の美徳の書、ハディース第 3671 番。

等級： サヒーフ（真正）―『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： https://sunnah.com/bukhari:3671

アリーとウスマーン包囲

ウスマーン・ブン・アッファーン رضى الله عنه の治世の終わり、エジプト、クーファ、バスラから来た反乱者たちがマディーナの彼の家を包囲しました。歴史書は、アリーが二人の息子 ***ハサンとフサイン*** をウスマーンの家の門の警護に送ったと伝えています。しかしウスマーンは自分のために血が流されることを望まず、ヒジュラ暦 35 年ズル・ヒッジャ月に不当に殺されました。

教訓

教友たちは互いに敬い合い、互いの美徳を認め合っていました。徳も知識も高いアリーが、アブー・バクルとウマルを最も優れた人とし、自分を「ムスリムの中の一人の男にすぎない」と言いました。これこそ本当の謙虚さです。アッラーは、私たちが彼ら全員のために祈ることを教えておられます。

集合章 59:10

وَٱلَّذِينَ جَآءُو مِنۢ بَعۡدِهِمۡ يَقُولُونَ رَبَّنَا ٱغۡفِرۡ لَنَا وَلِإِخۡوَٰنِنَا ٱلَّذِينَ سَبَقُونَا بِٱلۡإِيمَٰنِ وَلَا تَجۡعَلۡ فِي قُلُوبِنَا غِلّٗا لِّلَّذِينَ ءَامَنُواْ رَبَّنَآ إِنَّكَ رَءُوفٞ رَّحِيمٌ ١٠

かれら（移住者，援助者）の後に来た者たちは，（祈って）「主よ，わたしたちと，わたしたち以前に信仰に入った兄弟たちを，御赦し下さい。信仰している者に対する恨み心を，わたしたちの胸の中に持たせないで下さい。主よ，本当にあなたは，親切で慈悲深くあられます。」と言う。

訳：三田了一 — quran.com/59:10

第 4 代カリフと内乱の時代

ウスマーンの殉教後、マディーナのムスリムたちはヒジュラ暦 35 年ズル・ヒッジャ月に***アリー・ブン・アビー・ターリブ***に第 4 代カリフとして忠誠を誓いました。彼はムスリムの歴史で最も困難な状況の中、***約 4 年 9 か月***統治しました。

注：内乱の時代についてのスンナ派の立場

スンナ派は、***アリーが正当なカリフであり***、その側の方が真理に近かったと信じています。同時に、彼と意見を異にした教友たち ― アーイシャ、タルハ、ズバイル、ムアーウィヤなど ― はイジュティハード（努力による判断）をしたのだと考えます。正しく判断した者には二つの報奨があり、誤った者にも一つの報奨があります。

スンナ派は、どの教友も悪く言わないよう***口を慎みます***。アッラーの使徒 ﷺ が「私の教友たちを罵ってはならない」と言われたからです（『サヒーフ・ブハーリー』3673）。この時代についての多くの歴史的伝承には、弱いものや捏造されたものが混じっているため、注意して読む必要があります。

参照：

イブン・タイミーヤ『ミンハージ・アッ＝スンナ』；イブン・カスィール『始まりと終わり』；カーディー・アブー・バクル・イブン・アル＝アラビー『アル＝アワースィム・ミナ・アル＝カワースィム』。

出来事	簡単な説明
ラクダの戦い（ヒジュラ暦 36 年）	バスラの近くで、アリーの側と、アーイシャ、タルハ、ズバイルの側との間で起こった。双方とも和解のために出てきたが、戦いが起きてしまった。その後アリーは、アーイシャを丁重にマディーナへ送り返した
クーファへの移転	アリーはイラクのクーファをカリフ政権の中心とした
スィッフィーンの戦い（ヒジュラ暦 37 年）	ユーフラテス川のほとりで、アリーの側とシリアのムアーウィヤの側との間で起こり、調停で終わった
調停（ヒジュラ暦 37 年）	アブー・ムーサー・アル＝アシュアリーがアリーを、アムル・ブン・アル＝アースがムアーウィヤを代表した

出来事	簡単な説明
ナフラワーンの戦い（ヒジュラ暦 38 年）	アリーは、教友たちを不信仰者とみなしムスリムを殺したハワーリジュ派と戦った

ハワーリジュ派とアッラーの使徒 ﷺ の予告

*ハワーリジュ派*はもともとアリーの支持者でしたが、調停を拒んで彼から離れました。彼らは「判断はアッラーにのみ属する」と言いました。アリーは有名な言葉で答えました。*「真理の言葉だが、それによって虚偽が意図されている」*（『サヒーフ・ムスリム』1066）。

アッラーの使徒 ﷺ は、彼らが現れる前にそのことを告げておられました。アブー・サイード・アル＝フドリー رضى الله عنه の伝えるところでは、彼はこう言われました。「ムスリムが分裂する時、ある集団が（信仰から）外れ出るだろう。二つの側のうち*真理により近い側*が彼らと戦うだろう」（『サヒーフ・ムスリム』1065）。学者たちは、このハディースがアリーとその側の方が真理に近かったことの証拠だと述べています。

ハサンの和平

アッラーの使徒 ﷺ は孫のハサンについてもこう言われました。*「私のこの息子はサイイド（指導者）である。アッラーはおそらく、彼によってムスリムの二つの大きな集団を和解させられるだろう」*（『サヒーフ・ブハーリー』2704）。この言葉は、アリーの死後のヒジュラ暦 41 年、ハサンがウンマをまとめるためにカリフ位をムアーウィヤに譲った時に実現しました。その年は*アーム・アル＝ジャマーア*、「統一の年」として知られています。

教訓

アッラーの使徒 ﷺ は、これらのハディースの中で両方の側を*ムスリム*と呼ばれています。教友たちの対立はウンマにとっての試練であり、彼らを悪く言う口実ではあ

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

りません。内乱の時代の最大の教訓は、クルアーンを読みながらそれを理解しなかったハワーリジュ派が示したように、分裂と行き過ぎ（過激さ）の危険です。

クーファでの殉教

ナフラワーンの後、ハワーリジュ派の残党のうち 3 人が、同じ夜に 3 人の指導者を殺そうと企てました。クーファのアリー、シリアのムアーウィヤ、エジプトのアムル・ブン・アル＝アースです。成功したのはアリーに対する計画だけでした。

スィーラの注：信徒たちの長の最後の夜明け

ヒジュラ暦 40 年ラマダーン月（661 年 1 月）、アリーは夜明けに、人々を礼拝に起こしながらクーファのモスクへ向かいました。ハワーリジュ派の***アブドゥッラフマーン・ブン・ムルジャム***が毒を塗った剣で襲いかかり、彼の頭を傷つけました。

アリーは、自分が生きている間はイブン・ムルジャムを丁重に扱うよう遺言しました。回復すれば、許すか報復するかを自分で決める。亡くなった場合は、イブン・ムルジャムを一撃でのみ処刑し、***遺体を損なってはならない***、と。

アリーは 2 日後、***およそ 63 歳***で亡くなりました。息子のハサンとフサインが遺体を洗い、ハサンが葬儀の礼拝を導きました。ハワーリジュ派に墓を暴かれることを恐れて墓の場所は秘密にされ、その位置については歴史家の間で意見が分かれています。

参照：

イブン・サアド『大列伝』（アリーの伝記）；タバリー『諸使徒と諸王の歴史』；イブン・カスィール『始まりと終わり』。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ハディース：最も不幸な人々

アンマール・ブン・ヤースィル رضى الله عنه の伝えるところでは、ある遠征で地面の上で眠り込んでいたアリーとアンマールに、アッラーの使徒 ﷺ はこう言われました。「人々の中で最も不幸な二人のことを話そうか。（預言者サーリフ عَلَيْهِ السَّلَامُ の）雌ラクダを屠ったサムード族の男と、アリーよ、ここを ― アリーの頭に手を置いて ― 打ち、これを ― ひげを握って ― 血で濡らす者だ。」

等級： 伝承経路が多いため、一部の学者によれば良好（ハサン）―『ムスナド・アフマド』第 18321 番；ハーキム『アル＝ムスタドラク』；アルバーニー『スィルスィラ・サヒーハ』第 1088 番。

教訓

アリーは、自分は宗教を守っていると思い込んだ男によって殺されました。これが過激な考えの危険です。偉大な教友の殺害を「崇拝行為」に変えてしまうのです。一方アリーは、死の床にあっても、自分を殺した者を公正に扱い、遺体を損なわないよう遺言しました。敵を前にしても、公正さは失われなかったのです。

アリーの人柄

教友たちの伝記は、アリーを勇敢で、学識があり、質素で、公正で、気前の良い人として描いています。これらの特質は前の章で見てきました。次の表はそれをまとめたものです。

特質	アリーの生涯に見られる証拠
勇気	ヒジュラの夜にアッラーの使徒 ﷺ の寝床で寝たこと；バドルの一騎打ち；ハイバルの旗
知識	「最もよく裁くのはアリーである」（『サヒーフ・ブハーリー』4481）；イエメンに遣わされた時のアッラーの使徒 ﷺ の祈り
誠実さ	マッカの人々の預かり物を返したこと；フダイビーヤ和約を書いたこと
アッラーの使徒 ﷺ への愛	「アッラーの使徒」の文字を消すのを拒んだこと（『サヒーフ・ブハーリー』2699）
質素さ	一つの鎧だけの婚資；モスクの土の上で眠ったこと（アブー・トゥラーブ）
謙虚さ	「私はムスリムの中の一人の男にすぎない」（『サヒーフ・ブハーリー』3671）
公正さ	自分を殺した者の遺体を損なわないよう遺言したこと
ズィクルの継続	スィッフィーンの夜でさえファーティマのタスビーフを欠かさなかったこと（『サヒーフ・ブハーリー』5362）

教訓

アリーの偉大さは一つの特質にあるのではなく、それらがすべてそろっていることにあります。学者である英雄、質素な指導者、謙虚な裁判官。アッラーは彼の中に、一人の人間にはめったにそろわない特質を集められたのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

アリーの物語の出典

次の表は、この電子書籍の主な物語の出典と、その確かさの度合いを示しています。読者が真正なものと、単に有名なだけのものを見分けられるようにするためです。

物語	出典	等級
最初に入信した子ども	イブン・イスハーク；スィーラの書	有名
アッラーの使徒 ﷺ の寝床で寝たこと	イブン・イスハーク；『ムスナド・アフマド』	有名
フタミー鎧を婚資としたこと	『スナン・アビー・ダーウード』2125	真正
バドルの一騎打ち	『サヒーフ・ブハーリー』3965、3969	真正
アムル・ブン・アブド・ウッドとの一騎打ち	イブン・イスハーク	有名
フダイビーヤ和約を書いたこと	『サヒーフ・ブハーリー』2699	真正
ハイバルの旗	『サヒーフ・ブハーリー』3701	真正
マルハブを倒したこと	『サヒーフ・ムスリム』1807	真正
ハイバルの門を引き抜いたこと	イブン・イスハーク（身元不明の伝承者）	弱い
ムーサーに対するハールーンの立場	『サヒーフ・ブハーリー』4416	真正
ムバーハラの節	『サヒーフ・ムスリム』2404	真正
外套のハディース	『サヒーフ・ムスリム』2424	真正
バラーアを告げたこと	『サヒーフ・ブハーリー』4656	真正
ガディール・フンム	『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』3713	真正

物語	出典	等級
アブー・トゥラーブ	『サヒーフ・ブハーリー』3703	真正
ファーティマのタスビーフ	『サヒーフ・ブハーリー』3705	真正
アリーを愛することは信仰のしるし	『サヒーフ・ムスリム』78	真正
「私は知識の町であり、アリーはその門である」	『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』3723	弱い
アブー・バクルとウマルが最も優れている	『サヒーフ・ブハーリー』3671	真正
ハワーリジュ派と真理により近い側	『サヒーフ・ムスリム』1065	真正
最も不幸な人々	『ムスナド・アフマド』18321	良好（ハサン）

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

アリーの物語の登場人物

人物	役割
アブー・ターリブ・ブン・アブドゥルムッタリブ	アリーの父。マッカでのアッラーの使徒 ﷺ の叔父であり保護者
ファーティマ・ビント・アサド	アリーの母。入信して移住した
ジャアファル・ブン・アビー・ターリブ رضى الله عنه	アリーの兄。アビシニアへの移住者の指導者。ムウタで殉教
ファーティマ・アッ＝ザフラー رضى الله عنها	アッラーの使徒 ﷺ の娘で、アリーの妻
ハサンとフサイン رضى الله عنهما	アリーの息子たちで、アッラーの使徒 ﷺ の孫
ムハンマド・ブン・アル＝ハナフィーヤ	アリーの息子。『サヒーフ・ブハーリー』3671 の伝承者
ハムザ・ブン・アブドゥルムッタリブ رضى الله عنه	アリーの叔父。バドルの一騎打ちで共に戦った（第 1 巻）
ウバイダ・ブン・アル＝ハーリス رضى الله عنه	アリーのいとこ。バドルで負った傷により殉教
ザイド・ブン・ハーリサ رضى الله عنه	ハムザの娘の養育権をめぐってアリー、ジャアファルと争った
アムル・ブン・アブド・ウッド	塹壕の戦いでアリーが倒したクライシュ族の勇士（スィーラの伝承）
マルハブ	アリーが倒したハイバルのユダヤ教徒の勇士（『サヒーフ・ムスリム』1807）
サフル・ブン・サアド رضى الله عنه	ハイバルの旗とアブー・トゥラーブのハディースの伝承者
サアド・ブン・アビー・ワッカース رضى الله عنه	ムーサーに対するハールーンの立場のハディースの伝承者

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

人物	役割
アブー・バクル、ウマル、ウスマーン رضى الله عنهم	アリー以前の 3 人のカリフ。アリーは彼らの相談役だった
ムアーウィヤ・ブン・アビー・スフヤーン رضى الله عنه	シリア総督。ウスマーンの報復をめぐってアリーと対立した
アブドゥッラフマーン・ブン・ムルジャム	クーファでアリーを殺したハワーリジュ派の男

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

アリーの物語の舞台

場所	出来事	章
マッカ	アリーの誕生；入信；ヒジュラの夜	1〜3
マディーナ	ファーティマとの結婚；タブーク遠征時の留守；カリフとしての忠誠の誓い	4、8、15
バドル	ハムザ、ウバイダと共に一騎打ち	5
フダイビーヤ	和平協定の筆記	6
ハイバル	旗がアリーに渡される；マルハブを倒す	7
ミナー	バラーア章の告知	10
イエメン	裁判官として派遣	10
ガディール・フンム	「私が誰かのマウラーであるなら……」の言葉	10
バスラ	ラクダの戦い	15
スィッフィーン（ユーフラテス川のほとり）	スィッフィーンの戦いと調停	15
クーファ	カリフ政権の中心；アリーの殉教の地	15〜16

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

アリーの生涯の年表

次の年代は、スィーラの書に基づくおおよそのものです。西暦は目安として示しています。

時期	出来事
600年ごろ	アリーが、召命のおよそ10年前にマッカで生まれる
幼少期	クライシュ族が飢饉に見舞われた時、アッラーの使徒ﷺに引き取られる
610年	およそ10歳で入信
622年（ヒジュラ暦1年）	ヒジュラの夜、アッラーの使徒ﷺの寝床で寝る；マディーナで合流
ヒジュラ暦2年（624年）	バドルの戦い；ファーティマとの結婚
ヒジュラ暦3年（625年）	ウフドの戦い；ハサンの誕生
ヒジュラ暦5年（627年）	塹壕の戦い
ヒジュラ暦6年（628年）	フダイビーヤ和約を書く
ヒジュラ暦7年（628年）	ハイバルの旗
ヒジュラ暦9年（630年）	タブーク遠征の間マディーナに残る；ミナーでバラーアを告げる
ヒジュラ暦10年（632年）	イエメンの裁判官；別離の巡礼とガディール・フンム
ヒジュラ暦11年（632年）	アッラーの使徒ﷺとファーティマの死；アブー・バクルへの忠誠の誓い
ヒジュラ暦13〜35年	アブー・バクル、ウマル、ウスマーンの相談役
ヒジュラ暦35年ズル・ヒッジャ月（656年）	第4代カリフとして忠誠の誓いを受ける
ヒジュラ暦36年（656年）	ラクダの戦い；クーファへ移る

© 2026年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版

時期	出来事
ヒジュラ暦 37 年（657 年）	スィッフィーンの戦いと調停
ヒジュラ暦 38 年（658 年）	ハワーリジュ派とのナフラワーンの戦い
ヒジュラ暦 40 年ラマダーン月（661 年）	クーファでイブン・ムルジャムに襲われ、殉教者として亡くなる

教訓

アリーの生涯は、イスラームの初期の歴史全体にわたっています。マッカでの最初の啓示から、クーファでのカリフ時代まで。彼はウンマの誕生の証人であり、戦場でその守り手であり、最も重い試練の時にその指導者でした。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

アリーについてよくある質問

この章では、アリー・ブン・アビー・ターリブ رضى الله عنه についてよく尋ねられる質問に答えます。答えは簡潔にしています。詳しくは前の章をご覧ください。

1. アリーとアッラーの使徒 ﷺ はどういう関係ですか。

いとこ（叔父アブー・ターリブの息子）であり、娘婿（ファーティマの夫）です。また、アッラーの使徒 ﷺ の家で育ちました。

2. アリーがカアバの中で生まれたというのは本当ですか。

いくつかの書物に書かれていますが、真正な伝承経路では確かめられていません。歴史書でカアバの中で生まれたとして知られているのはハキーム・ブン・ヒザームです。

3. アリーは何歳で入信しましたか。

有名な説によれば、およそ 10 歳です。最初に信仰した子どもでした。

4. アブー・トゥラーブという呼び名はどういう意味ですか。

「土の父」です。モスクで眠っていたアリーの背中に土がついているのを見て、アッラーの使徒 ﷺ がそう呼ばれました。アリーが最も好んだ呼び名です（『サヒーフ・ブハーリー』3703）。

5. アリーがファーティマに贈った婚資は何でしたか。

彼のフタミー鎧です（『スナン・アビー・ダーウード』2125）。

6. アリーがハイバルの門を引き抜いた話は真正ですか。

いいえ。伝承経路は弱いです。真正なのは、旗がアリーに渡され、アッラーが彼の手によってハイバルを開かれたことです（『サヒーフ・ブハーリー』3701；『サヒーフ・ムスリム』1807）。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

7.「ムーサーに対するハールーンの立場」とはどういう意味ですか。

アッラーの使徒 ﷺ のアリーに対する近さと信頼です。ムーサー عَلَيْهِ السَّلَامُ が民の世話をハールーン عَلَيْهِ السَّلَامُ に任せたのと同じです。預言者ご自身が「ただし、私の後に預言者はいない」と強調されています（『サヒーフ・ブハーリー』4416）。

8. アフル・アル＝バイトとは誰ですか。

33:33 の節の文脈から、アッラーの使徒 ﷺ の妻たちはアフル・アル＝バイトに含まれます。外套のハディースは、アリー、ファーティマ、ハサン、フサインも含まれることを示しています（『サヒーフ・ムスリム』2424）。

9.「私は知識の町であり、アリーはその門である」というハディースは真正ですか。

多くのハディース学者が弱いとし、一部は捏造とさえしています（『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』3723）。

10. アリーはアブー・バクルとウマルをどう見ていましたか。

アッラーの使徒 ﷺ の後で最も優れた人々として名を挙げ、人々の前でアブー・バクルに忠誠を誓いました（『サヒーフ・ブハーリー』3671、4240）。

11. アリーとムアーウィヤの対立について、私たちはどう考えるべきですか。

スンナ派は、アリーが正当なカリフで真理により近かったと信じ、関わったすべての教友はイジュティハードをしたと考えます。私たちは彼らを悪く言わないよう口を慎み、彼ら全員のために祈ります（集合章 59:10）。

12. アリーを殺したのは誰で、いつですか。

ハワーリジュ派のアブドゥッラフマーン・ブン・ムルジャムが、ヒジュラ暦 40 年ラマダーン月の夜明けに、クーファで。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

教訓と結び

アリー・ブン・アビー・ターリブ رضى الله عنه の物語は、アッラーの使徒 ﷺ の家で信仰した一人の子どもから始まり、夜明けの礼拝に向かう途中で殉教したカリフで終わります。その二つの点の間には、信仰、知識、ジハード、そして試練に満ちた 50 年の生涯があります。

教訓	アリーの物語から
幼い時からの信仰	早くまかれたタウヒードの種ほど強く育つ
導きを目指す勇気	「あなたを通じて一人が導かれることは、赤いラクダよりも良い」
知識と誠実さ	秘密の知識の主張を否定した；知識はクルアーンとスンナから来る
質素さ	鎧の婚資、使用人のいない家、寝る前のズィクル
謙虚さと敬意	アブー・バクルとウマルの美徳を認めた
過激さの危険	ハワーリジュ派は宗教の名においてアリーを殺した
最後まで公正	自分を殺した者の遺体を損なわないよう遺言した

私たちの生活の中のアリー

寝る前にスブハーナッラーを 33 回、アル＝ハムドゥ・リッラーを 33 回、アッラーフ・アクバルを 34 回唱えるたびに、私たちはアッラーの使徒 ﷺ がアリーとファーティマに贈ったものを受け継いでいます。質素さを選び、先人を敬い、宗教における行き過ぎを退けるたびに、私たちはアリーの足跡をたどっているのです。

彼の物語は、アッラーの使徒 ﷺ のすべての教友を愛することも教えています。アリーを愛することは、他の人を憎むことではありません。むしろ仲間の教友たちを最も敬ったのは、アリー自身でした。彼ら全員に対して清らかな心こそ、アッラーが集合章で称えておられる心です。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

インシャーアッラー、『イスラームの英雄』シリーズは次の人物へと続きます。アッラーがアブー・アル＝ハサン、アブー・トゥラーブ、アリー・ブン・アビー・ターリブに満足され、私たちをその楽園で、アッラーの使徒 ﷺ とその家族、教友たちと共に集めてくださいますように。

参考文献

クルアーンと解釈

聖クルアーン、ウスマーン版の本文と三田了一訳。https://quran.com

イブン・カスィール『偉大なるクルアーンの解釈（タフスィール・アル＝クルアーン・アル＝アズィーム）』（イムラーン家章 3:61；戦利品章 8:30；悔悟章 9:3、9:100；巡礼章 22:19；部族連合章 33:33；勝利章 48:18；集合章 59:10）。

ハディース

『サヒーフ・ブハーリー』17、111、2699、2704、2903、3091、3671、3673、3700、3701、3702、3703、3705、3965、3969、4240、4350、4416、4481、4656、5362。https://sunnah.com/bukhari

『サヒーフ・ムスリム』78、1065、1066、1807、2404、2424。https://sunnah.com/muslim

『スナン・アビー・ダーウード』2125、3582。https://sunnah.com/abudawud

『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』3713、3723、3728、3747。https://sunnah.com/tirmidhi

『ムスナド・アフマド』18321；ハーキム『アル＝ムスタドラク』。

アルバーニー『スィルスィラ・サヒーハ』第 1088 番、『スィルスィラ・ダイーファ』第 2955 番。

スィーラ、歴史、伝記の書

イブン・ヒシャーム『預言者伝（アッ＝スィーラ・アン＝ナバウィーヤ）』（イブン・イスハークからの伝承）。

イブン・サアド『大列伝（アッ＝タバカート・アル＝クブラー）』（アリー・ブン・アビー・ターリブの伝記）。

タバリー『諸使徒と諸王の歴史（ターリーフ・アッ＝ルスル・ワ・アル＝ムルーク）』。

イブン・カスィール『始まりと終わり（アル＝ビダーヤ・ワ・アン＝ニハーヤ）』。

イブン・ハジャル・アル＝アスカラーニー『アル＝イサーバ』；『ファトフ・アル＝バーリー』。

ナワウィー『サヒーフ・ムスリム注釈（アル＝ミンハージ）』。

カーディー・アブー・バクル・イブン・アル＝アラビー『アル＝アワースィム・ミナ・アル＝カワースィム』。

サフィーウッラフマーン・アル＝ムバーラクプーリー『封印された蜜（アッ＝ラヒーク・アル＝マフトゥーム）』。

Wikipedia「Ali」。https://en.wikipedia.org/wiki/Ali

QURANSCIENCE.MY の関連シリーズ

『イスラームの英雄』第 1 巻：ハムザ・ブン・アブドゥルムッタリブ。
https://quranscience.my/ebook/ja/eiyu-01-hamuza-bin-abudurumuttaribu.html
『預言者伝（スィーラ）』第 9 巻（バドルの戦い）と第 10 巻（ウフドの戦い）。
https://quranscience.my/#sirah

支援と寄付

この電子書籍はムスリムのために**完全に無料**で発行されており、**決して販売してはなりません**。研究費、ウェブサイト quranscience.my の運営費、そして次の電子書籍の発行のためのご寄付を心から歓迎します – ただし、**義務ではありません**。アッラーがすべてのご寄付を継続する施し（サダカ・ジャーリヤ）としてお受け入れくださいますように。

雌牛章 2:261

مَّثَلُ ٱلَّذِينَ يُنفِقُونَ أَمۡوَٰلَهُمۡ فِي سَبِيلِ ٱللَّهِ كَمَثَلِ حَبَّةٍ أَنۢبَتَتۡ سَبۡعَ سَنَابِلَ فِي كُلِّ سُنۢبُلَةٖ مِّاْئَةُ حَبَّةٖۗ وَٱللَّهُ يُضَٰعِفُ لِمَن يَشَآءُۚ وَٱللَّهُ وَٰسِعٌ عَلِيمٌ ٢٦١

アッラーの道のために自分の所有するものを施す者を例えてみれば、ちょうど 1 粒が 7 穂を付け、1 穂に百粒を付けるのと同じである。アッラーは御心に適う者に、倍加してくださる。アッラーは厚施にして全知であられる。

訳：三田了一 — quran.com/2:261

サバア章 34:39

قُلۡ إِنَّ رَبِّي يَبۡسُطُ ٱلرِّزۡقَ لِمَن يَشَآءُ مِنۡ عِبَادِهِۦ وَيَقۡدِرُ لَهُۥۚ وَمَآ أَنفَقۡتُم مِّن شَيۡءٖ فَهُوَ يُخۡلِفُهُۥۖ وَهُوَ خَيۡرُ ٱلرَّٰزِقِينَ ٣٩

言ってやるがいい。『本当にわたしの主は、そのしもべの中から御心に適う者に、御恵みを豊かに与えまた或る者には乏しく授けられる。かれはあなたがたが（主の道のために）施すものはすべて返される。かれは最も優れた御恵を与える方であられる。』

訳：三田了一 — quran.com/34:39

ハディース — 『サヒーフ・ムスリム』第 2588 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، وَابْنُ، حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - وَهُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، عَنْ رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « مَا نَقَصَتْ صَدَقَةٌ مِنْ مَالٍ وَمَا زَادَ اللَّهُ عَبْدًا بِعَفْوٍ إِلاَّ عِزًّا وَمَا تَوَاضَعَ أَحَدٌ لِلَّهِ إِلاَّ رَفَعَهُ اللَّهُ ».

訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によれば、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「施しは財産を減らさない。人を赦すしもべに、アッラーは尊厳しか増し加えない。アッラーのためにへりくだる者を、アッラーは必ず高められる。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・ブン・アイユーブ、クタイバ・ブン・サイードとアリー・ブン・フジュル ← イスマーイール・ブン・ジャアファル ← アル＝アラー・ブン・アブドゥッラフマーン ← 父 アブドゥッラフマーン・ブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضى الله عنه。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』善行・親族の絆・作法の書、赦しと謙虚さを勧めることの章、ハディース第 2588 番。

等級： サヒーフ（真正）―『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：https://sunnah.com/muslim:2588

ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』第 1631 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، - يَعْنِي ابْنَ سَعِيدٍ - وَابْنُ حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - هُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « إِذَا مَاتَ الإِنْسَانُ انْقَطَعَ عَنْهُ عَمَلُهُ إِلاَّ مِنْ ثَلاَثَةٍ إِلاَّ مِنْ صَدَقَةٍ جَارِيَةٍ أَوْ عِلْمٍ يُنْتَفَعُ بِهِ أَوْ وَلَدٍ صَالِحٍ يَدْعُو لَهُ ».

訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によれば、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「人が死ぬと、その行いは三つを除いて途絶える。継続する施し（サダカ・ジャーリヤ）、役に立つ知識、またはその人のために祈る正しい子どもである。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・ブン・アイユーブ、クタイバ・ブン・サイードとアリー・ブン・フジュル ← イスマーイール・ブン・ジャアファル ← ア

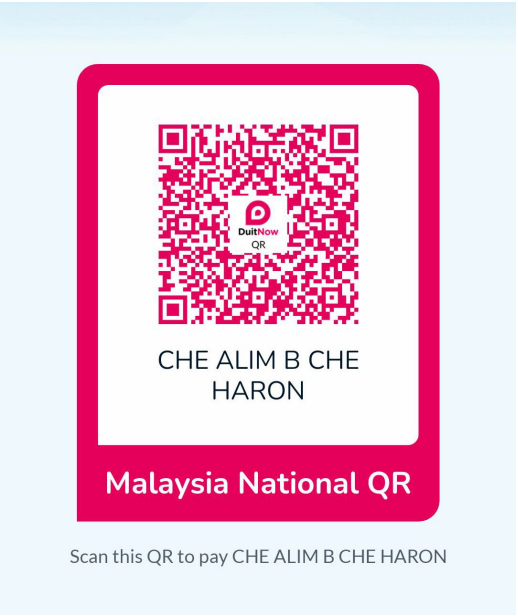
ル＝アラー・ブン・アブドッラフマーン ← 父 アブドッラフマーン・ブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضي الله عنه。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』遺言の書、死後に人に届く報奨の章、ハディース第 1631 番。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：https://sunnah.com/muslim:1631

ジャザークムッラーフ・ハイラン・カスィーラ（多大なる善い報いがありますように）



上の QR コード（DuitNow）を読み取って寄付できます。



海外からのご寄付：寄付するボタンをクリックするか、こちらへ paypal.me/quranscience